

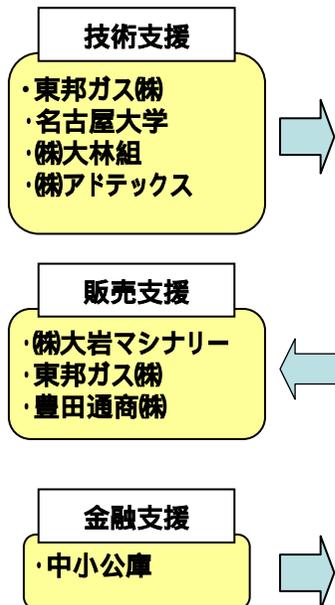
地域	東京都千代田区	認定日	平成19年2月21日	3 - 18 - 062
事業分類	製造(その他の製造業)	テーマ分類	省エネルギー	

## 事業名: 省エネルギー型空調用調湿装置の開発と事業化

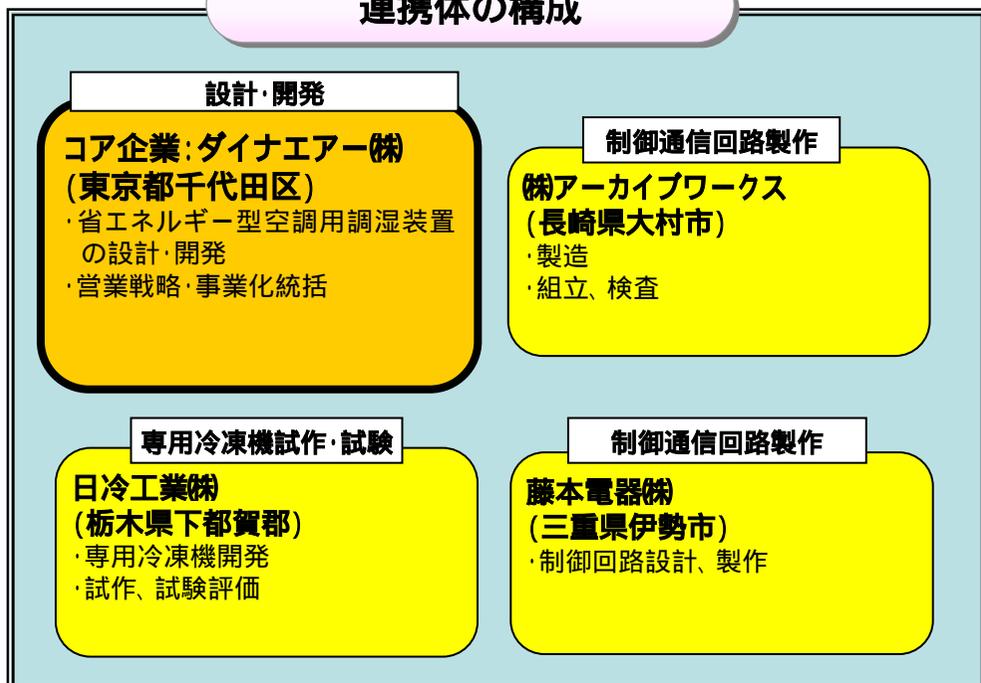
### 事業概要(新規性、市場性等)

- ・空調装置において、従来から温度制御式より湿度制御式の方が快適で保健衛生上も好ましいといわれているが、費用対効果の観点から、現在は温度制御式により調湿をおこなうものが一般的である。しかし、この温度制御式にも課題があり、空気の温度を下げることで除湿をおこない、その後、ヒーター等で適正温度にするため効率が悪い。
- ・本件は塩化リチウム溶液を用いて空気中の水分を除去する省エネルギー、高効率かつ信頼性の高い空調用調湿装置を開発し、事業化するもの。
- ・従来の空気調和装置全てに置き換えられるものではないが、老人ホームやスーパーなどに採用されることは必然であり、今後大きく伸びるものと期待出来る。

### 事業推進体制

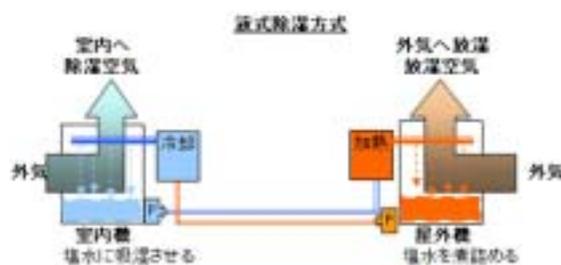


### 連携体の構成



### 支援予定メニュー

補助金  
低利融資  
(中小公庫)



本装置の仕組み



本装置設置風景

## 連携のきっかけ、特徴

- 湿度制御式の空調が、現行の温度制御式空調に比べ快適で保健衛生上好ましい事は旧知の事実であるが、調湿と省エネルギーを両立し、かつ安価な機器が存在しなかったためその普及は製薬工場や衛生管理区域等、特殊な空間に限られている。現行の調湿空調は主に冷凍機タイプと固体乾燥剤(シリカゲル等)を使うものに大別されるが、初期コスト、維持コスト、費用対効果等、何れも問題を抱えているため、病院・介護養護施設、食品店舗、オフィス、宿泊施設のような一般空調市場における普及が阻まれている。
- こうした背景から弊社では、調湿効果が高く、省エネルギー実現可能な液体吸湿剤(高濃度塩水)方式に着目し、2003年から装置を開発、実験室および実地試験を重ねてきた。この方法では塩分による金属腐蝕、および塩分飛散という2点が問題視されてきたが、これまでの研究と試験でこれら2問題を設計上の工夫と材料選定により、比較的lowコストで解決できる事が示されたため、一般空調分野への普及を図るべく事業化へ踏み切る事にした。
- 設計組立を行う(株)アーカイブワークス、制御通信回路製作の藤本電器(株)および冷凍機試作評価を行う日冷工業(株)と連携し事業化を目指す。

## コア企業の会社概要

企業名・代表者	ダイナエア株式会社 代表取締役 宮内 彦夫	
所在地	東京都千代田区内神田1-1-5-412	
創業	平成16年10月	
資本金・従業員数	50,000千円	5名
業種	機械設計業	
T E L	03-3294-4566	
F A X	03-3294-4567	
ホームページ	<a href="http://www.dyna-air.jp/">http://www.dyna-air.jp/</a>	
e-mail	info@dyna-air.jp	

## PR等その他の情報